

■行政改革推進プラン(第6次) 令和6年度取組内容(概要版)

項 目		R6年度取組内容	関係課
1.総合的な行政マネジメント改革			
行政運営全般に関わるマネジメント手法の改善			
	◆行政評価制度の活用	大分市行政評価・行政改革推進委員会内に新たに事務事業評価部会を立ち上げ、見直し推奨事業について客観的かつ専門的な知見から外部評価を行う。	企画課
デジタル社会に対応した業務全般の改革			
	◆システム標準化に伴う業務フローの抜本的見直し	標準化対象20業務について、令和7年度中の移行に向け、ガバメントクラウド上に標準準拠システムの構築・移行準備作業を行っていく。	情報政策課
2. 利用者目線でのサービス向上			
市役所に行かなくても手続等ができる環境整備			
	◆オンライン申請サービスの拡充	年間申請受理件数500件以上の手続について、可能なものから順次オンライン化を実施する。	情報政策課
公共施設のサービス向上			
	◆公共施設等案内・予約システムに係る利便性の向上	令和7年2月の新システムの稼働に向けて、システム開発を進めるとともに、新システムの新たな機能として、「オンライン利用者登録機能」や「キャッシュレス決済機能」の導入について検討する。	文化振興課
3. 持続可能な行財政運営			
公共施設等のマネジメントの推進			
	◆ライフサイクルコストを踏まえたコスト縮減	ライフサイクルコストを踏まえたコスト縮減に向けて、公共施設等の適切な維持管理や長寿命化改修事業にあたり、必要に応じて多様なPPP/PFI手法等の検討を行う。また、小中学校や市有施設の照明についてLED化の検討を行う。	企画課 学校施設課 他
職員の働きやすさ・働きがいの向上			
	◆デジタル人材育成とその能力を活用した職員提案制度の構築	令和5年度に見直しを行った「大分市デジタル人材像及び育成研修の実施方針」に基づき、eラーニング、集合研修等を実施する。	情報政策課
4. 新たなニーズやリスクへの対応			
危機管理のマネジメント強化			
	◆大規模災害等への対応力の強化	令和6年10月から消防指令業務共同運用の本運用開始に向けて、県内の119番回線の切替を実施するとともに、災害対策本部との情報共有を図る。	通信指令課
時代の要請に応じた施設のあり方検討			
	◆市民ニーズに対応した施設の活用の検討	祝祭の広場における指定管理者制度導入に向けた募集要項等の検討(サウンディング調査など)を行う。	企画課 まちなみ企画課
5. 未来を創造する経営財源の確保(歳入・歳出の改革)			
歳入の改革			
	◆自主財源の確保	受益者負担の考えを踏まえた公共施設の使用料の算定基準を策定する。	企画課 財政課
歳出の改革			
	◆事務事業の整理・合理化の強化	事務事業評価の強化を図るため、これまで以上に事業効果や課題等が把握できるよう、評価シートの見直しを行うとともに、新たに導入する事務事業評価部会による外部評価を行う。	企画課
計画期間中の収支安定に向けた取組の効果的な推進			
	◆改善効果額目標の設定と取組の効果的推進	改善効果額目標である年間10億円の達成に向け、着実に取組を推進する。	企画課 他